

## 八島太郎と「八島太郎」生誕100年記念事業(趣意書)

八島太郎(やしまたろう)は、本名を岩松淳といい、1908年、鹿児島県根占町(現南大隅町)に医師の三男として生まれました。地元の神山小学校から鹿児島県立第二鹿児島中学校(現鹿児島県立甲南高等学校)に進み、東京美術学校(現東京芸術大学)に入学しますが、軍事教練を拒否し、退学処分を受けています。日本プロレタリア美術家同盟に参加し、何度も拘留されています。同じプロレタリア美術家同盟の新井光子と結婚し、幼い子ども(マコ岩松)を日本に残し、1939年夫婦で渡米し、日本向けの反戦ビラ・パンフなどを画き、米国で反戦活動を行っています。

戦後、アメリカの出版社から故国での体験に基づいた絵本を発表しました。「からすたろう」「あまがさ」「海浜物語」でコルデコット賞を受賞するなど、世界的に絶賛を受け、絵本作家としての地位を確立しました。

1962年に23年ぶりに生誕地・ふるさと根占に帰り、小学校の卒業写真を頼りに同級生を訪ね歩きます。「からすたろう」のモデルになった同級生には会えませんでした。その様子を記録映画にした「金色の村」(きんいろのむら)は有名です。その後、アメリカで活動を続けた八島太郎は、「ふるさと根占を描きたい。」と願ったまま、1994年カリフォルニア州ガーデナにて逝去しました。

このたび、八島太郎生誕100年を記念して「八島太郎」生誕100年記念事業を開催する運びとなりましたが、生誕地・ふるさと根占といっても、生誕地であること以外は、何もないといっても過言ではありません。まさにゼロからの取り組みとなりますが、関係者の皆様のご理解、ご協力を得ながら進めていきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

平成20年7月1日

「八島太郎」生誕100年記念事業根占実行委員会

代表 東 幸治郎

「八島太郎」生誕100年記念事業根占実行委員会

代表 東 幸治郎 090-1166-9000(ねじめ南蛮塾)

事務局 〒893-2501 鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北226

南大隅町教育委員会 社会教育課 浜田幸夫

TEL:0994-24-3111 FAX:0994-24-3270